

2023年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘A) 成果報告書

(*本報告書は本学ウェブサイト等で公開されます)

(適宜行追加可)

受入担当 教員	所属・職	経営戦略研究科・教授
	氏名	石原 俊彦
海外客員 教員	所属・職	経営戦略研究科・招聘A教授 (ローマ トル・ヴェルガータ大学)
	氏名	Rocco Palumbo
招聘目的	1. 授業担当及び研究 <input checked="" type="checkbox"/> ② 共同研究 3. 特別枠 (いずれかに○)	
招聘期間	2023年10月1日~10月31日	
成果報告 以下の内容を記載して下さい。	<p>(1) 共同研究の内容</p> <p>受け入れ担当教員とその博士課程後期課程研究室(博士課程後期課程生5名、大学院研究員8名、経営戦略研究科研究員2名、OBOGの大学教員<専任講師・准教授・教授>他15名、合計30名)では、Palumbo 教授の著書 Palumbo, R. <i>The Bright Side and the Dark Side of Patient Empowerment: Co-creation and Co-destruction of Value in the Healthcare Environment</i>, Springer Briefs in Public Health, pp.1-108, 2017. の翻訳を通じて共同研究を行っている。この著書は患者エンパワーメントや患者エンゲージメントの長所と短所を光と影という形で対照的に論述した著作で、欧州の公共経営研究をリードするエジンバラ大学の Stephen Osborne 教授が提唱する Public Service Logic の中心概念である Value Co-Destruction の概念を駆使した労作として、欧州の公共マネジメント研究で非常に高く評価されている名著である。招聘では、著書の行間や背景、また、執筆の企図などを詳細に共有することで、著書の内容を緻密に理解できるように共同研究を進めた。</p> <p>また、Palumbo 教授は、地方自治体・医療・大学などの公共部門の英語査読ジャーナルである『<i>International Journal of Public Sector Management</i>』の編集責任者を務められていることから、英語学術雑誌への投稿の流儀、論文構成、研究デザインの方法、定量分析と定性分析の融合などの具体的な展開についてのレクチャーを提供していただき、研究室メンバーとの共有を図った。</p> <p>(2) 共同研究の成果</p> <p>著書の緻密な翻訳の成果は、石原俊彦監修『患者エンパワーメントの光と影ーヘルスケアサービスにおける価値共創とその失敗ー』として関西学院大学出版会から2024年7月に出版予定である。なお、本書の翻訳は研究室に所属する勝田篤氏(関西学院大学研究科研究員)と丸山洋三氏(北陸大学准教授)が担当し、その際に得られた知見は研究室の研究発表を介してすべてのメンバーで共有している。</p> <p>海外査読ジャーナルへの投稿に関しては、複数の研究室メンバーが受け入れ担当教員との共著で投稿を予定している。投稿予定内容は、地方自治体における統合報告、中小企業経営、大学経営に関する定性的な実証研究をResearch Questionとしたものである。</p>	
1. 授業担当及び研究		
(1) 授業科目名		
(2) 授業担当の成果		
(3) 研究の内容		
(4) 研究の成果		
2. 共同研究		
(1) 共同研究の内容		
(2) 共同研究の成果		
3. 特別枠		
(1) 活動内容		
(2) 成果の成果		